

# 高松支部 活動報告

## 1 研究主題

「学びを人生や社会に生かそうとする生徒の育成」～主体的・対話的で深い学びを支えるメディア教育の推進～

## 2 はじめに

今年度は来たるべき令和4年度の県メディア教育研究大会の高松市発表と、大会担当校が屋島中学校に決定した流れを受けて、運営組織作りと各中学校の取り組みのまとめを推進しなければならない。各小・中学校で実装された電子黒板を駆使し、現在は若手教員を中心に教室でデジタル教科書や授業用画像、動画、インターネットの教育用サイトの活用を視野に入れた授業展開に試行錯誤を重ねる雰囲気ができつつある。その教育活動によって育った生徒が、将来の社会生活において学習結果の日常生活への反映や具体的なICT活用への知識を現在のIoT社会で生かせることが求められているため、その実現に向けたより実利的な研修を行うことができた。

## 3 研究計画

平成29年度のグループ研修を継続し、第2～5回主任研修会及び高松支部夏季研修会が行われた。なお、例年は実施していなかった11月に研究推進委員数名を集めて、次年度の運営組織を話し合う機会を設けた。

(1) 第1回(4月26日高松第一中)

- ①昨年度報告・今年度計画
- ②事業報告・会計報告
- ③役員選出・事業計画

研究グループ一覧

北：桜町、紫雲、玉藻、高松第一、鶴尾、木太  
南：龍雲、太田、山田、香川一、三木、塩江  
東：屋島、協和、古高松、牟礼、庵治、高松北  
西：勝賀、一宮、香東、下笠居、国分寺、香南、  
附属高松

平成31(令和元)年度研究組織

部会長 水野 敏孝 校長 塩江中学校  
副部会長 小野坂寧晃 副校長 高松第一中

研究主任 柴田 恒 太田中学校  
会計 藤原 悟 玉藻中学校  
放送コン 中原 裕貴 牟礼中学校

(2) 第2回(6月19日高松第一中)

各中学校の取り組み・問題点と現状把握

(3) 夏季研修会(7月26日高松第一中)

NTT ドコモ・スマホ・ケータイ安全教室

(4) 第3回(9月26日高松第一中)

各中学校の取り組み・発表に向けて発案

(5) 第4回(11月27日太田中)

次年度運営組織の組閣討議

(6) 第5回(令和2年2月19日高松一中)

- ・H31年度のまとめと反省(活動報告書)
- ・R2年度研究計画・研究組織について

## 4 研究内容

(1) 今年度の研修会は第2、3、5回研修会にて令和4年の高松支部発表に向けて発表を担当する屋島中学校と連携を密にしつつ、文科省のICT活用の指針「ステージ3」のレベルで各校がどのように取り組みを把握するかを話し合う時間を割いた。

主に、昨年度実装された電子黒板の具体的な使用例についての報告を柱に4グループで話し合いを持ち、西グループ国分寺中学校・社会のNHKforschool利用を始め、社会・英語のデジタル教科書の利用、書画カメラによる数学の資料・プリントの表示と各グループ各中学校とも同様に「よく使うようになっている」との報告が上げられた。北グループからは「道徳」では読み物資料を表示して読み聞かせるため、欠かせないツールになっているとの報告も有り、学校によって差は認められるが電子黒板の利用が徐々に拡がりつつあることがうかがえた。南グループの話し合いからは、学年をまたいで若手教員を中心に積極的なタブレットの定期使用を目指した動きの話が出たが、理科の特別教室へは電子黒板導入が未だされていないため、技能教科と併せて特別教室への65inchモニタの実装を早急に望む意見も出ていた。

一方課題としては、東グループから日々の授業で電子黒板を継続して使う職員が少ないために、初歩的な教育用 ICT の使用方法の指導や啓発が必要だとの意見も聞かれた。また、校内 LAN などのネットワークについては複数同時使用時の接続速度が改善されないままであり、現状では授業が成立しなかったケースの報告もされた。加えて生徒用 PC の起動の遅さや sv5 サーバーの保安問題が各グループから改善点として改めて提言された形となった。



夏季研修会は日々変化している中学生の現状やスマートフォンをツールとした視点から知ることができた研修となった。SNS での被害が増加し手口も巧妙になっていること、その中でも 4 割が中学生の被害であることも大きな驚きだった。お金でつられたり、「付き合っている証だから」と言われたりして写真を送ってしまうケースがあるそうだが、一度送った写真は二度と削除ができず、社会的に被害が続くことを生徒に繰り返し伝えることが重要であると学んだ。LINE や Twitter の発言の重みや「こうしたらどうなるか」という想像力を育めるように、教師の働きかけが今後も重要になってくることがわかった。



## (2) 運営組織の組閣に関する討議会

第 4 回研修会は例年開催していなかったが、R2 年度の組閣の討議と事前の打ち合わせのために 8 名の研究推進委員を集め、次年度 4 月の組織運営のスタートをより円滑に運ぶことを目的として開催された。

## 5 現場の要望と今後の課題

今年度の研修会は各中学校での ICT 利用実態、つまりは電子黒板を活用した各教科での授業実践の確認と、現状のハードウェアが抱える授業実践上の課題点を情報交換する機会に留まった。今後も令和 2 年度末までは引き続き「各教科の ICT 活用授業実践の把握」と「現時点で実現可能な限り日常的に利用可能な ICT 活用授業の実践」について考えなければならない。

タブレット端末の刷新と使用習熟度をあげるための情報はメディア教育部会研修会から各校の取り組みにアドバイスする形が望ましい。

なお ICT 機器の操作が不得手な教員が他の助けを借りずとも自分で準備・操作・片付けができるようにするための効果的な手引きなどの作成が今年度は達成できなかったため、継続して取り組みたい。